



# 志をもって誠実に生きる

～気付き・挑み・創る～

2022.1.27 No.10

## ■2022年がスタートしました！

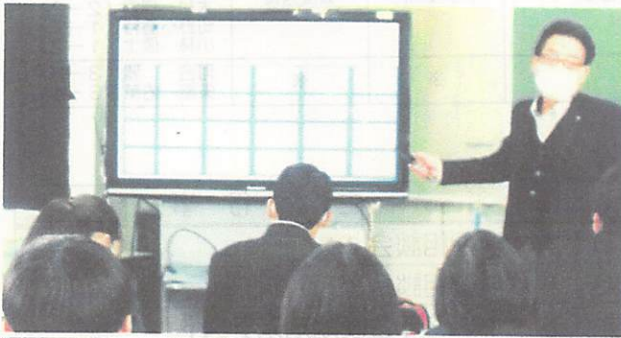
遅ればせながら、あけましておめでとうございます。先週、岐阜県が「まん延防止等重点措置」の指定区域となりましたので、本校でも1/20(木)より、再びいろいろな活動の制限が厳しくなっているところですが、今年も「**生命の安全を最優先すること**」と「**学びを止めないこと**」を大切にしながら学校を運営していきますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## ■『租税教室』

1/17(月)に、3年生を対象にした『租税教室』を実施しました。岐阜北税務署にある租税教育推進協議会より4名の講師の方に来校していただき、身近なことでありながらなかなか詳しく知る機会のない税のことについて、分かりやすく授業をしていただきました。

3年生では、12月の『法教育』、今回の『租税教室』とも、外部から専門の方に来ていただき、より理解を深めることができました。



専門の方の授業は、話が上手でとても分かりやすかったです。



授業のテンポがよく、いつのまにか挙手も増えます。

## ■中体連夏季大会以降も頑張っています！

9/27付で発行しました本紙No.6で、夏休み中に行われた中体連夏季大会やコンクールで、本校の生徒がよく頑張ったことを紹介させていただきましたが、夏休みが終わった後、1・2年生が中心の新チームになってからも引き続き良い成績を残していますので、以下に紹介させていただきます。(『みわスポーツクラブ』の指導者の方々、いつもありがとうございます。)



### 【運動系】

活動	大会名	部門	順位	氏名(学級)
野球部	文部科学大臣杯 第13回 全日本少年春季軟式野球 岐阜県大会	※	3位	※
剣道部	第42回東部大会(男子の部)	団体戦	3位	※
	第42回東部大会(女子の部)	個人戦	優勝	長屋 健人(2-3)
男子ソフトテニス部	岐阜市民大会	団体戦	3位	※
		個人戦W	優勝	山田 乃愛(2-3)
	岐阜市中学校ソフトテニス室内大会	個人戦W	優勝	横山 瑛大(2-2) 齋藤 太一(2-1)
		個人戦W	準優勝	向井 洸介(2-2) 佐藤 秀征(2-3)
		個人戦W	準優勝	下条 瑠依(2-1) 大矢 謙心(2-1)
第6回 ミズノカップソフトテニス大会(中学生男子の部)	団体戦	3位	横山 瑛大(2-2) 齋藤 太一(2-1)	
女子ソフトテニス部	第6回 ミズノカップソフトテニス大会(中学生女子の部)	団体戦	準優勝	※
バレーボール部	第40回 岐阜県バレーボール中学生新人大会 岐阜地区大会	団体戦	優勝	※
スキー(部活外)	令和3年度 岐阜県中学校体育大会アルペンスキー競技	※	3位	※
		大回転 回転	17位 24位	近松 恒祐(1-4)



また、部活動ではありませんが、以下のコンクール等でも活躍した生徒がたくさんいますので、ここで紹介させていただきます。

【文科系】

コンクール等の名称		部門	順位	氏名(学級)
漫画	2021 中国(杭州)国際少年児童マンガコンクール	少年の組	金賞	山田 奈々(3-1)
			銀賞	松田 美空(3-3)
書写	第89回全国書画展覧会	書写の部	金賞	各務 志帆(1-2)
				後藤 純菜(1-4)
				坂本 優杏(2-1)
				大村 柳雲(2-2)
				藤吉 結望(2-2)
				九野 瑛亮(3-1)
				進藤 夕奈(3-1)
				後藤 仁美(3-3)
				東園 紗李(3-4)
			銀賞	武島 有希(2-1)
				福島 愛彩(2-1)
				中野 華瑛(2-2)
				澤田 優菜(2-3)
絵画	第89回全国書画展覧会	絵画の部	金賞	米山 歩佑(3-2)
人権作文	令和3年度全国中学生人権作文コンテスト岐阜県大会	※	FC岐阜賞	福田 純礼(1-3)
	人権に関する作文	※	入選	林 知世(3-2)
			佳作	河合 雅(3-3)
			努力賞	山内 咲愛(1-3)
読書感想文	第60回岐阜市青少年読書感想文コンクール	中学の部	準特選	小澤 咲(3-1)
			入選	玉井 美海(1-4)
				小澤 李輔(2-1)
				辻 奈々心(3-2)
プログラミング	令和3年度Pepperプログラミングコンテストinぎふ	中学校部門	最優秀賞	河合 雅(3-3)
				鳥澤 優太(3-4)
				三島 瑞心(3-2)
				大村 柳雲(2-2)
				町野 蒼待(1-1)
				小林 優士(1-2)
ボランティア	Super-CVS表彰	※	※	河合 雅(3-3)
				矢能 佑菜(3-4)

【2月の行事】

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	火	3年生進路懇談	15	火	学習相談会
2	水		16	水	学習相談会
3	木	いじめを見逃さない日	17	木	1・2年生後期期末テスト
4	金	1年生除伐体験(3・4組) → 中止	18	金	1・2年生後期期末テスト
5	土		19	土	
6	日		20	日	
7	月		21	月	
8	火		22	火	
9	水		23	水	天皇誕生日
10	木	授業参観(担任授業) → 中止	24	木	
11	金	建国記念の日	25	金	継承と発展を誓う会
12	土		26	土	
13	日		27	日	
14	月		28	月	

保護者のみな様へ(お知らせ)

保護者のみな様にご協力いただきました『学校評価』の集計結果と、別紙で取らせていただいた『学年担任制』のアンケートの集計結果をまとめました。その結果も、この学校だよりと一緒に配布させていただきますので、ご覧ください。





## 「教育目標に関わる評価アンケート」の結果報告について

12月に「教育目標に関わる評価アンケート」を皆様にお願ひしました。お忙しい中、多くの皆様にご協力いただきありがとうございました。結果を下記にまとめましたので、ぜひお読みください。

これを踏まえ、今後の教育活動の充実を図っていきます。また、ここには表れませんが、文章で記述していただいた内容も参考にさせていただきます。貴重なご意見をありがとうございました。

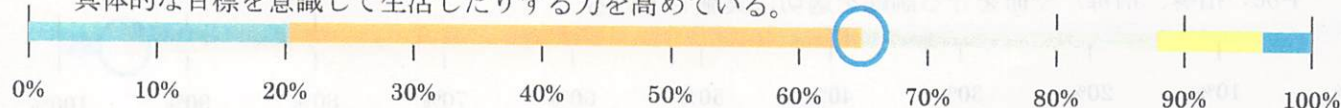
記

### <お子様の様子について>

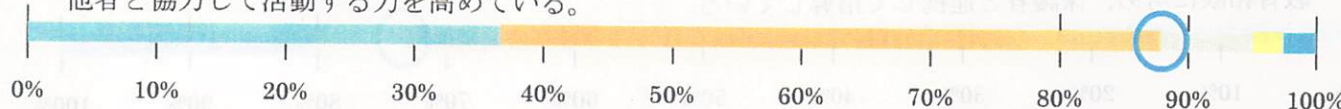
■ A ■ B ■ C ■ D ■ Z

評価規準 A 良好 B やや良好 C 努力を要する D かなり努力を要する Z 評価できない

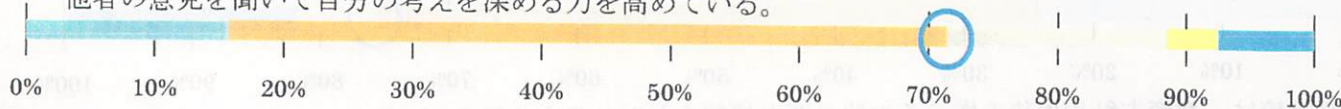
① お子さんは志（夢や希望）をもち、必要な学習を計画的に進めたり、具体的な目標を意識して生活したりする力を高めている。



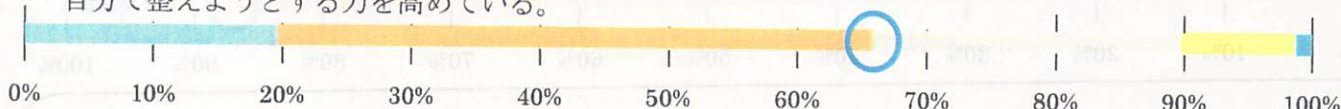
② お子さんは安心して登校し、仲間との活動を通じて楽しさを味わいながら、他者と協力して活動する力を高めている。



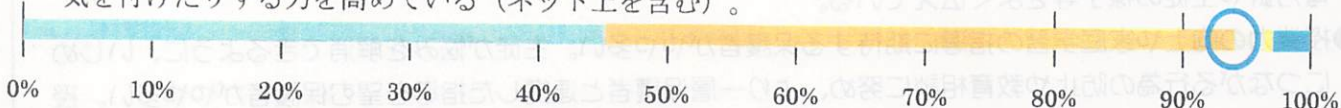
③ お子さんは授業等を通して、自分の考えを適切に表現する力や、他者の意見を聞いて自分の考えを深める力を高めている。



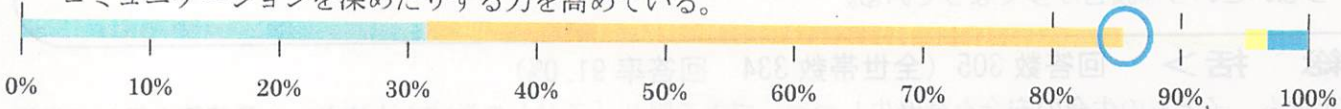
④ お子さんは健康に関心をもち、食事や起床・就寝時刻等の生活リズムを、自分で整えようとする力を高めている。



⑤ お子さんは自他を大切にし、交通ルールを守ったり、相手が傷つく言動に気を付けたりする力を高めている（ネット上を含む）。



⑥ お子さんはタブレット等の情報機器の使い方を理解し、適切に情報を得たりコミュニケーションを深めたりする力を高めている。



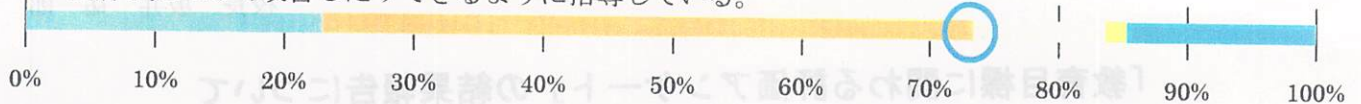
○ 安心感のある生活の中で、仲間との活動を楽しんだり仲間と協力したりして、自分の力を伸ばしている。交通ルールを守ったり、相手が傷つく言動に気を付けたりして、自他の生命を大切にする態度が身に付いている。タブレット等の情報機器の使い方を身に付け、効果的に活用している。

● 志（夢や希望）をもち、計画的に学習したり、生活したりする力について、不十分に感じる保護者が多い。表現力や学び合いを通じて考えを深めるような学習指導についてさらに注力してほしいと感じている保護者がやや多い。食や起床・就寝時刻の生活コントロールができないと感じる保護者が多い。

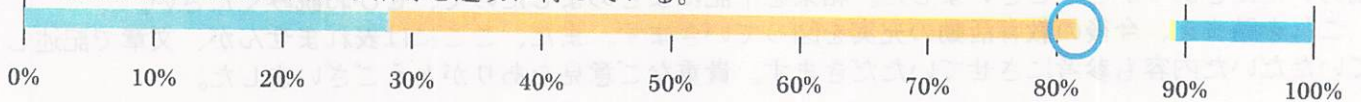


## <学校の指導について>

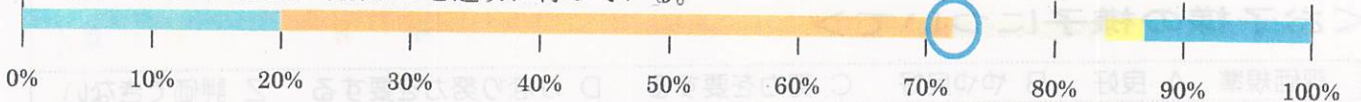
⑦学校は、生徒が志（夢や希望や目標）をもち、自分で判断して行動したり、生活を見つめて改善したりできるように指導している。



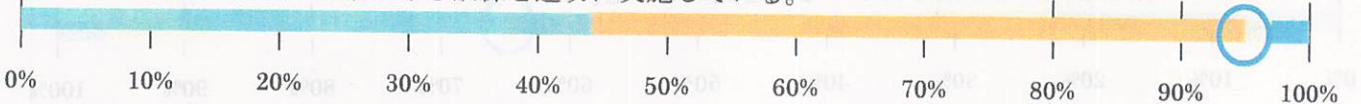
⑧学校は、生徒が安心して楽しい学校生活を送れるように、思いやりの心や規範意識の育成に関わる指導を適切に行っている。



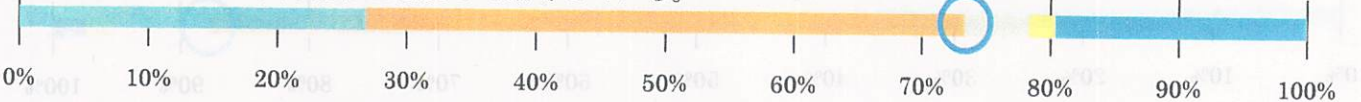
⑨学校は、生徒が学力を高められるように、授業や家庭学習の指導を丁寧に行うと共に、見届けや励ましを適切に行っている。



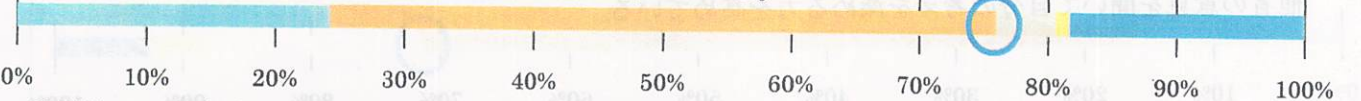
⑩学校は生徒が安全に生活できるように、コロナ対応（検温、マスク・手洗い指導、消毒）や命を守る訓練を適切に実施している。



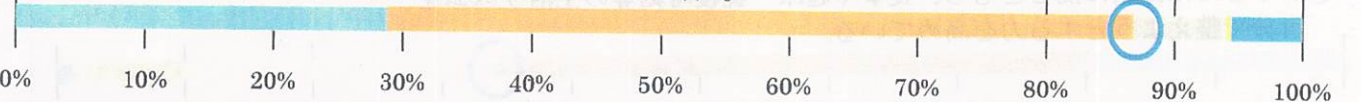
⑪学校は、生徒が悩みを解消できるように、いじめにつながる行為の防止や教育相談に努め、保護者と連携して指導している。



⑫学校は、PTAや地域と連携して、生徒の安全を守りながら、ふるさと三輪に関心や愛着をもつ教育活動に努めている。



⑬学校は、教育方針や生徒の様子その他必要な情報をわかりやすく伝えている（学校HP、学校・学年だより、保護者配信メール等）。



○安全な生活に向け、コロナ対応や命を守る指導は適切になされている。また、開かれた学校に向け、教育方針や生徒の様子等をよく伝えている。

●授業力の向上や家庭学習の指導に期待する保護者がやや多い。生徒が悩みを解消できるように、いじめにつながる行為の防止や教育相談に努め、より一層保護者と連携した指導を望む保護者がやや多い。授業参観等を通して、お子様の様子を直接見ていただく機会がないため、学校での様子についてよくわからないという保護者が多くなっている。

## <総括> 回答数 305 (全世帯数 334 回答率 91.0%)

今年度も、子どもの生命の安全を最優先しつつ、できる限り「子どもの学びを止めない」最善策を講じて学校運営を行ってまいりました。コロナ対策を徹底しつつ、日常生活や行事等を通して個の成長や仲間関係づくりの充実に努めてきました。それらに関して一定の評価をいただけたことを大変ありがたく受け止めています。

今後は、生徒が自分で生活リズムを整え心身の健康を図っていくことや、主体的に学ぶ力（自分の目的や目標に対して必要な課題を見つけ、方法を考えて学習する力）の育成が重要であると考えます。また、予復習の充実を図るためにも、授業内容をより身に付けられるよう指導力向上をめざします。

今後も、志をもち、自ら計画的に学習したり、自ら生活リズムを整えたりする力を付けていけるよう指導していきます。ご家庭でのご指導を引続きお願いいたします。



# 『学年担任制』についてのアンケート（12月）

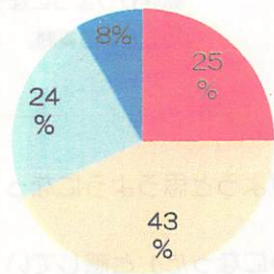
結果

ア. 大変そう思う ■ イ. ややそう思う ■ ウ. あまりそう思わない ■ エ. 全くそう思わない ■

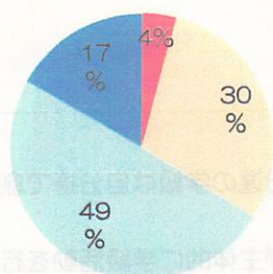
## 【質問1】

『学年担任制』になったことで、昨年度までの『学級担任制』よりも、先生に話しやすくなった。または、話しやすい先生が増えた。

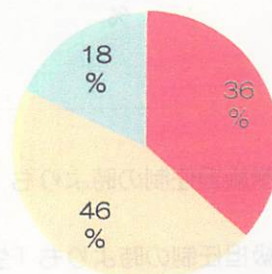
【生徒】



【保護者】



【教員】



※教員へは、「『学年担任制』になったことで、昨年度までの『学級担任制』よりも、多くの生徒が話しかけてくるようになった」という質問。

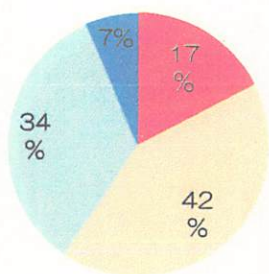
## 【考察】

- 約70%の生徒が、学級担任制の時よりも「先生に話しかけやすくなった」と感じている。
- 教員は、80%が学級担任制の時よりも「生徒が話しかけてくるようになった」と感じている。生徒の感じ方よりやや多め。
- ▲保護者は、学級担任制の時よりも「教員に話しかけやすくなった」と感じている方は、約30%しかない。6月時点より10%ほど多くなったが、家庭訪問、PTA総会、授業参観などがなく、12月時点でも誰に話しかけたらよいのか分からないという意見が多かった。

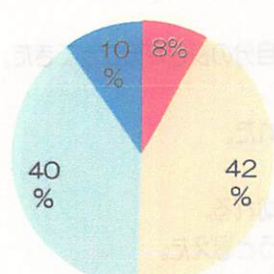
## 【質問2】

『学年担任制』になったことで、昨年度までの『学級担任制』よりも、いろいろな先生が自分の変化に気付いてくれたり、褒めたりしてくれるようになった。

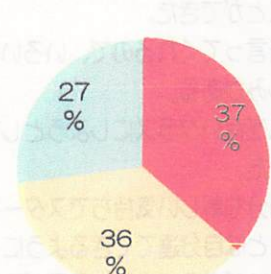
【生徒】



【保護者】



【教員】



※教員へは、「『学年担任制』になったことで、昨年度までの『学級担任制』よりも、多くの生徒の変化に気付いたり、褒めたりするようになった」という質問。

## 【考察】

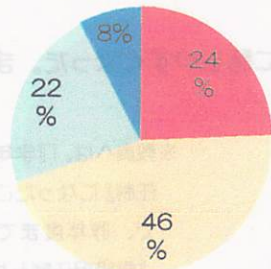
- 約60%の生徒が「先生が自分の変化に気付いてくれたり、褒めたりしてくれるようになった」と感じている。
- 約70%の教員が「いろいろな生徒の変化に気付いたり、褒めたりするようになった」と感じている。6月時点より10%ほど多くなった。
- ▲保護者は、学級担任制の時よりも「いろいろな先生が自分子どもの変化に気付いてくれたり、褒めたりしてくれるようになった」と感じている方は約50%。6月時点より10%ほど多くなった。



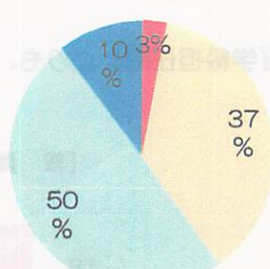
【質問3】

『学年担任制』になったことで、昨年度までの『学級担任制』よりも、「自分達の学級は自分達で創り上げよう」と思うようになった。

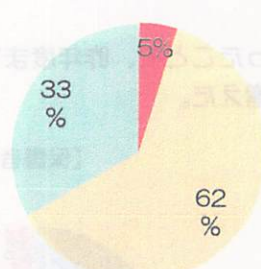
【生徒】



【保護者】



【教員】



※教員へは、「『学年担任制』になったことで、昨年度までの『学級担任制』よりも、生徒が主体的に学級活動を行うようになった」という質問。

【考察】

- 約70%の生徒が、学級担任制の時よりも「自分達の学級は自分達で創り上げようと思うようになった」と感じている。
- 教員も約70%が学級担任制の時よりも「生徒が主体的に学級活動を行うようになった」と感じている。6月時点より20%ほど多くなった。
- ▲保護者は、学級担任制の時よりも「子どもが、自分達の学級は自分達で創り上げようと思うようになった」と感じている方は、約40%しかいない。学校の様子が分からないので、評価できないという意見も多かった。

【質問4】

質問1～3の内容以外で、『学年担任制』になって良かったことはどんなことがありますか。(記述)

生徒

- いろいろな相談がよくできるようになった。困った時に自分にとって話しやすい先生がいるのはありがたい。
- いろんな先生と気軽に話せること。学校が楽しくなった。学級や学年を見ても笑顔が増えた。
- 授業中も先生に話しやすくなり、安心して挙手ができたり、質問がしやすくなったりして、勉強がよく分かるようになった。
- 授業が終わった後、昨年度までは質問があっても聞けなかったけど、今年度は聞けるようになった。
- 先生によっていろいろな考えがあって、それを聞いたので良かった。いろいろな目で見て伝えてくれる。
- 担任がいなくても(欠席や出張で)、他の担任に相談にのってもらえた。頼れる先生が増えた。
- 先生の顔と名前を早く覚えることができた。
- いろいろな先生が、違う良さを言ってくれるので、いろいろな自分の良さが分かってきた。
- 今週は誰が担任だろうと、楽しみがある。
- 多くの先生が、すべてのクラスを良いクラスにしようとしてくれた。
- いろんな先生の良さが理解できた。
- 担任が代わるタイミングで、自分も新しい気持ちでスタートが切れる。
- 先生が代わるから、自分達のことは自分達でできるようにしようと思えた。
- 自治を目指し自分達で行う話し合いが増え、自分の意見が持てるようになった。
- 自分達で動けるようになった。呼びかけが増えた。
- 合わない先生がいても、1週間で交代するので苦ではない。
- 学年の先生がみんな自分のことや学級のことを知っていてくれる。

保護者

- 複数の担任の先生に指導してもらえるので、偏ったものの考え方は減っていると感じる。いろいろな学びがあった。
- 子どもからいろいろな先生の話や、自分が褒めてもらった話などを聞く。楽しそうで良い。
- 合わない先生がいても、ストレスが軽減されるので良い。
- いろいろな先生のことを分かるようになった(子どもを通じて)。
- 学年の先生全員が、子どものことを知っていてくれる。多くの目と手で支えられている感じがする。安心感。

- いろいろな大人に関わることは、社会に出ていくために大事なことです。大人の考えは1つではないということを知る良い機会。
- 学校の話や先生の話をするが増えた。
- いろいろな先生が声を掛けてくれたり、アドバイスをくれたりすると子どもからよく聞く。
- 子どもが、自分に合った先生を見つけて話ができているので良い。
- 1人の先生に相談したら、学年の先生全員に声を掛けてもらえたようで安心した。
- 自分達で主体的に行事を行ったりできるようになったと思う。
- 話しやすい先生を選べるので、子どもの特性をよく理解してもらえる。
- 学年の先生だけでなく全校の先生に声を掛けてもらっているようで、学校全体で見られているのだと実感した。
- 学校を休みがちな子ですが、先生を選び、良いアドバイスもいただけた。続けてほしい。
- 担任の先生だけでなく、学年主任の先生との関わりも増えた。
- はじめは不安だったが、いろいろな先生に気にかけてもらえ良かった。
- 電話連絡の時に、学年の先生誰でもよいので助かる。
- 先生が産休でお休みになっても、他の先生方も担任ということなので心強い。
- クラスというこだわりが少なくなったように思う。
- 親しみやすさを感じた。1対30より、4対120で良かった。
- 上の子(兄)が中学校にお世話になっていた時よりも、子どもと先生の距離が近くなったと感じる。

#### 教員

- 教科の関係で、学年の半分の学級にしか授業に行かないが、学年担任制のおかげで学年の生徒全員と関わりがもてるようになった。
- 生徒の情報共有の時間が増え、多くの生徒のことが把握できた。指導の方向も、担任1人ではなく、学年全体で考えることができた。
- 担任が代わることによって学級間格差がでにくくなった。(特に、まとまりのない学級・秩序のない学級といった学級ができなかった。)
- 自分の学級だけでなく、学年全体のことを常に気にするようになった。学年全員の生徒のことを積極的に知ろうと努力した。
- いろいろな学級の良さが見えるようになった。それを他の学級に広めることもできた。
- 他の担任が、班ファイルや学級日誌にどんなことを書いているのかが分かり、自分の勉強にもなった。
- 不登校の生徒に、さまざま先生が関わられるようになった。
- 自分が見えていない生徒の良さを、他の担任の先生が認めてくれたりしたので、生徒にとっても良かったし、生徒を見る自分の見方の幅も広がった。
- 生徒が主体的に動けるようになってきた。
- 学級担任のカラーが出すぎないのも良かった。
- 1人の担任が1学級のすべてを抱え込むということはなくなり、学年の教師が学年の生徒を見るという体制になった。
- 担任のカラーについていけないという生徒は減った。
- 昼休みに教室を離れる時や、都合で休みをもらう時に、学年のフォローがあるので、以前よりもしやすくなった。
- 食物アレルギーの情報が、学年全員の先生に周知されているのでありがたい。
- 生徒は、いろいろな先生の価値観に触れ、柔軟な思考や行動力を身に付けていくことができた。コミュニケーション能力も高まった。社会で生きる力になった。

#### 【質問5】

質問1～3の内容以外で、『学年担任制』になって良くなかったことはどんなことがありますか。(記述)

#### 生徒

- ▲嫌な先生が担任の日は、相談したいことがあってもしにくい。
- ▲1週間で次の担任に代わってしまうので、もう少し長く(2～3週間)してほしい。クラスの課題と向き合いにくい。
- ▲行事の時(体育祭や音楽祭)に途中で担任が代わるとやりにくい。思い出がきづらい。
- ▲先生を含めた〇年〇組という団結感が感じられなくなった。
- ▲先生によって言うことが違う(給食のおかわりのルールとか)ので、どうすればよいのか分からない時があった。特に、4・5月の頃。
- ▲先生によって態度を変える子がいる。
- ▲苦手な先生も必ずまわってくる。
- ▲先生に用事がある時、その先生が何年何組の教室にいるのかが分かりにくくなった。



- ▲次に回ってくる先生が分からない時がある。
- ▲毎週担任が変わると、生徒の変化に気付くことは難しいと思う。特に小さな変化は気付いていないと思う。
- ▲先生に気軽に話せるようになるまでに時間がかかった。
- ▲学級の活動の進み具合を、先生が変わるたびに説明しなくてはならなかった。
- ▲どの先生でも大丈夫だけど、結局どの先生に相談しようか迷ってしまう。
- ▲先生に頑張っている自分を見てほしくて、1週間で次の学級に行ってしまう。見てくれるのかな？
- ▲提出物を忘れた時、担任が変わってしまうので、出すタイミングを逃して出せなかった。
- ▲ローテーションの期間がよく分からない（1週間の時もあるし2週間の時もあるし）。
- ▲先生が「生徒の名前と顔を覚えづらくなった」とおっしゃっていた。
- ▲先生、大変そう・・・。
- ▲状況が分かっているのに責められる（叱られる）ことがあった。

#### 保護者

- ▲学年の先生（担任）が誰なのかよく分からない。学年通信や予定表で分かるようにしてほしい。欠席の電話もしにくい。
- ▲どの担任に相談してもよいというのはありがたいが、どの先生がどんな先生なのかが分からないので選べない。
- ▲学校生活のことや行事の取組などで、先生によって言われることが違い、子どもが混乱している。
- ▲関係性を築きにくいのではないかと。互いに理解を深められるか疑問。一人一人のことを本当によく見ているのか不安。
- ▲先生によって、子どもが宿題や提出物を出したり出さなかったりする。同じように注意したりチェックしたりしてほしい。
- ▲先生方の負担が増えたのではないかと。大変そう。
- ▲1年を通した個の伸びは、学級担任制の方がよく分かるのではないかと。
- ▲情報共有はどのようにしているのか。責任をもって主体性を育む先生は誰か。
- ▲学級のまとまりがマイチの気がする。先生も週替わりなので、うわべだけしか見えていない気がする。
- ▲行事の取組と本番は同じ担任にしてやってほしい。
- ▲2回目の三者懇談で別の先生にお願いしたら、「～のようです」と言われた。学年の生徒全員を見るのは難しいのではないかと。
- ▲学年の先生に、前日に欠席の連絡をしたら、翌日担任から電話がかかってきた。伝達が難しいのかな。
- ▲コミュニケーション能力が低い子どもにとっては、先生に慣れるまでに時間がかかる。
- ▲担任が変わるため学級通信があまり出ないので、学級の様子が分かりにくくなった。
- ▲通知表に間違い（係名）があり、ちゃんと共有されているのか心配になった。
- ▲子どものことを責任をもって担任してくれるという覚悟を感じ取れる先生がいなかった。広く浅くといった感じ。
- ▲学年の先生から見た子どもの姿をまとめたものを懇談で示してもらえると、ちゃんと見られていることが分かる。
- ▲担任の先生がいなくて気がする。
- ▲小さなことが見えづらい。生活ノートはあった方が良かった（そこに書いて相談できるので）。

#### 教員

- ▲毎日ローテーションするので、その日に指導したことの見届けが翌日にできないことが多々あった。自分が指導したことが、次にその学級の担任になった時には、もうできなくなっている。それが時には他の担任批判になってしまうことも・・・。
- ▲担任によって指導の内容が違うことがあった。
- ▲担任の負担が軽くなったのは良いが、やる気も責任感も軽くなったようにも見えてしまう。そうならないければ良いが。
- ▲学年の先生と情報共有がしにくい。育児時短の先生は、放課後に情報を共有しようとしてもできない。指導が後手に回ることもあった。
- ▲生徒の情報共有の時間が、日々結構かかった。
- ▲生徒との関係が浅くなりがちで、信頼関係の中でできてきた指導というのができにくくなった。踏み込みが甘くなる。
- ▲生徒や保護者に頼られることはうれしいことだが、三者懇談や生徒の相談が集中してくるとなかなか大変・・・。
- ▲いつも同じ教員が生徒に親身になっている。
- ▲生徒対応において、責任があいまいになることがあった。
- ▲生徒1人1人を粘り強く丁寧に指導するには、学級担任制の方がやりやすかった。
- ▲提出物の回収の確認がしっかりできないことがあった。
- ▲学年主任の負担が大きくなったのではないかと。
- ▲おとなしい生徒は、担任が変わっていくことで、かえって相談しにくいこともあったのではないかと。
- ▲広く浅くというのは否めない。
- ▲フォローしてもらおう先生がいるということは、フォローしている先生がいるということで、後者の負担が大きくなる。
- ▲慣れるまでは戸惑うことも多かった。





# 仲間と共に



令和3年度 <三輪南小 学校だより> 令和4年1月24日

## 新型コロナウイルス第六波をむかえて

校長 小野木 義浩

1月に入り、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が急激に増え、岐阜県では県独自の非常事態宣言、まん延防止等重点措置が発出されました。今回の主流であるオミクロン株の重症化率は低いとは言われていますがよくわかりません。しかし、感染力は強いため、急激に感染者が、特にワクチンを接種していない若い世代に広がっています。岐阜市内でも学校閉鎖や学級閉鎖などが見られるようになってきています。どこの学校から陽性者や濃厚接触者が出ても不思議ではないような状況です。今回、子供たちと確認したことは次の通りです。

### ★これまでやってきた感染予防対策をきちんとやりましょう。

マスクの正しい着用、場面が代わるごとに手洗い・消毒、ノ一三密、まめな換気（教室の窓の一部開放や休み時間毎の窓開け、マスクを外す時の特別な注意（給食は黙食、登下校や体育の時間の一部など）、毎日の確実な検温と健康チェック

国や県、市の方針を受けて、校外に出かける学習や社会見学、地域と連携した行事や活動などを中止や延期とします。また、複数学年が集団やグループでいっしょに活動する取組は原則行いません。すでにお知らせいたしましたように、2月5日「とうさん・かあさん・地域の皆さんお仕事授業」と2月18日（金）授業参観は中止とします。また、なかよし遊び（縦割りグループ）やクラブ活動・委員会（日常活動は除く）の時間の実施は見合わせます。また、放課後児童教室（どんぐりクラブ）は1月31日と2月7日は中止とします。計画していた内容が予定通りできないことはとても残念です。この状況下でも、子供たちが元気になる笑顔になる取組を考えていきます。

高い伝播性や短い潜伏期間という特徴のあるオミクロン株に対応して、県や市から新たな学校の対応方針が出されました。学級で一人でも陽性が判明した場合、現行では「保健所などの調査により、学級などの接触者を特定した後、該当者を自宅待機」としていましたが、新しい基準では「保健所などの調査・判断を待たずに、速やかに学級全体を自宅待機（学級閉鎖）」（保健所がPCR検査の受検者等の判断をするまでの期間）となります。学級閉鎖が同一学年に複数発生した場合は学年閉鎖、学年閉鎖が複数発生した場合は、学校全体が臨時休業となります。学級閉鎖などが発生した場合は、オンラインなどによる学習支援を行います。そのため、急な学級閉鎖などの可能性がありますので、靴が重くなりますが、「置き勉」を工夫しながら、これまで同様にタブレットの持ち帰りはします。

発熱や咳・倦怠感などいつもと体調が異なったり、調子が悪かったりするときには、無理をせずに体を休ませてください。病院の診察もお願いします。いろいろとご心配の中、ご無理を申すことがあるかと思えます。ご理解・ご協力をお願いします。





令和3年度【2月後半～3月前半の行事予定】 ※変更する場合があります。

月	火	水	木	金	土	日
	2/1 給食感謝の会 新1年生入学説明会	2	3 三輪南地域 名人さんの 話 3年	4	5 とうさん・かあさん お仕事授業中止の ため休日	6 資源回収
7	8 福祉講話 5 年	9	10	11 建国記念の日	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21 ばっちりテスト	22 委員会	23 天皇誕生日	24	25 2分の1成人式	26	27
28 放送朝会 通学班会・通学 班長引継式	3/1	2 6年生を送る 会	3	4	5	6

※読み聞かせ、ドングリクラブは当面中止しますが、「まん延防止」解除されたときは再開する場合があります。

【おしらせ】

□ トイレの洋式化工事が終了しました！



学校のトイレの便器を様式に変更する工事が完了しました。各階の男子・女子トイレに2つずつの洋式トイレが設置されました。子供たちには不便な思いをさせていました。本来すべてが洋式になることが望ましいのかもしれませんが、今までよりは使いやすくなると思います。個室の壁や扉も鮮やかな黄色や緑などにしました。薄暗いイメージのトイレが少し明るさを増したようです。

□ お帰りチャイムは4時半です。

日没が4時台の冬の時期です。もうすっかり運動場が暗くなった場合にも、子供たちの姿を見かけることがあります。この時期は交通事故も多い時期です。早めに帰宅するようご家庭でも呼びかけていただいているところだと思います。学校では、遊びに夢中になり、時間を気にかけることをうっかりしてしまうことがないよう、4時半に「お帰りチャイム」を鳴らすことにしました。もう一度安全な帰宅について親子で話題にしてみてください。

□ 欠席の場合の翌日の予定連絡について

コロナ禍、児童を通しての連絡帳のやり取りは、控えていただくことにします。これまでは担任による電話連絡等で翌日の予定をお知らせしていましたが、より確実に伝えるために児童のタブレットにアップさせていただくことにします。児童のクラスチャンネルにアップします。よろしくお願いします。

□ ハザードマップを見直してみませんか

5、6年生の児童が、地域の水防団の方々からお話を伺う機会がありました。平成16年の台風23号での被害を教訓に、様々な取り組みを通して水防マニュアルの作成を行い、「特殊堤積土のう工」という新水防工法を考案された話は、その熱意や努力にとっても感動しました。

「災害は、忘れた時にやってくる！」と言われていています。もしもの時のためにどんな備えをすればよいか、どこに避難すべきなのか、ハザードマップを参考に家族で対策を話し合うのもよいかと思います。また、27年前の1月17日は、阪神淡路大震災が起こりました。家庭で被災した時、放課後遊んでいて被災した時など、いろいろな場合を想定して、どうするとよいか考えておくことでいざという時に命を守ることに繋がっていくと思います。



□ 冬の体操服について

冬の寒い時期には、長袖・長ズボンの着用も許可しております。本校指定のジャージもごさいますが、華美でなければ市販のものもご利用いただけます。その場合、同じような素材のものをご準備ください。安全性や動きやすさを鑑みフード付きのものなどは、お控えください。